

実践編

子育て支援プログラム（4学年懇談会）の作成の手順

1 保護者の願いの把握

懇談会を開催する日の約1ヶ月前に、学年便りを出しました。内容は、「懇談会を行う期日等のお知らせ」「懇談会に向けてのアンケート」です。

以下が、回収できたアンケート結果です。アンケートの内容から大事だと思うキーワードに、下線をつけてみました。

性教育（生理の事などどうに話していったら）

女の子ですが、これから生理を迎える時期になりますが、子どもにわかりやすく正しく説明をしてあげたいのと、不安や心配事などを話し合いたいです。

反抗期の子どもとのかかわり方...どこまで親としてかかわればよいか。

4年生というこの年齢は心も体も大きく変化する時期ですが、親の方も”もう10歳”という気持ちと”まだ10歳”という気持ちが入り混じり接しています。

学ぶということに興味を持ち続けられるには、どんな働きかけを親として子どもにしてあげられるか？

子どもにやる気を起こさせる方法

子どもの自主性（積極性、やるき）を伸ばすにはどう接していくか。

子どもに自信を持たせたい。私も少しでも子育てに自信を持ちたい。話下手なので、皆さんのお話だけでも聞かせていただき、参考にさせて～。

素直な育て方を教えてくださいたいと思います。

「子どもに自信を...」「思春期の～」も大変よいテーマだと考えます。

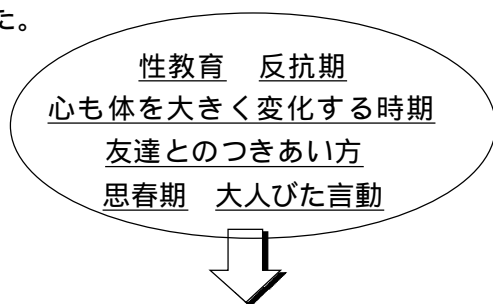
これから思春期という難しい年頃になるに当たって、どう接していったらよいか。

お手伝いについて（子どもに自主的にさせるには、親がどこまで手を出したらよいか）

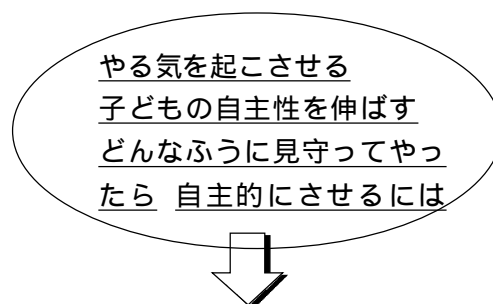
4年生になりだいが大人びた言動が見られるようになりましたが、まだまだ幼いところも残っているようです。少しずつ自分の力で考えて行動できるようになってきていますが、どんなふうに見守ってやったらよいでしょうか。

友達とのつきあい方

次に、アンケート内容を整理し、保護者のニーズの傾向を分析するために、キーワードを仲間分けしてみました。そして、仲間分けしたキーワードをまとめる言葉（概念）を考えてみました。



前思春期の発達課題



子どもへのかかわり方

このような思考過程を経て、セミナーのテーマを決定しました。

テーマ 「前思春期の我が子とのかかわり方」

2 プログラム作り

設定したテーマに基づいて、セミナーのプログラムを作りました。プログラム作りは、

キーワードやテーマに関する知識を、文献等で学ぶ。
テーマにかかわる支援のポイントを明らかにする。
楽しみながら学べるセミナーの進め方を考える。

という手順で行いました。

については、発達課題に関する文献（小倉清著「子どものこころ」、渡辺康磨著「小学生にわかっているもイライラするお母さんへ」、「思春期について書かれている児童用の保健体育の副読本」他）を参考にしました。

については、前思春期の子どもの立場に立つと、どう保護者是对応するべきかについて、上記の文献等を参考に、ポイントを明らかにしました。

ポイント1 : ゆれている我が子の内面を察知しましょう。

ポイント2 : 親に近づこうとしてきた時はかかわりをもち、

自分でやろう（離れよう）としている時は見守りましょう。

については、参加する保護者の緊張をほぐすために、アイスプレイングのエクササイズを選びました。エクササイズの選定には、国分康孝著「エンカウンターで学級が変わる」、皆川興栄著「ライフスキルトレーニング」を参考にしました。次に、保護者が楽しみながら学べるように、ロールプレイを使って、テーマに沿った課題を提示しました。

ロールプレイは、普段の家庭生活のある場面を思い浮かべ、保護者が支援のポイントに気づけるように、以下のような2つの場面を考えました。

場面1 帰宅した子どもとお母さん

素直で明るいトモくんが学校から帰ってきました。ところが今日は何だかいつもと違う様子です。帰ってくるなり、ランドセルを放り投げ、いきなりマンガ本を読みだしました。「ただいま」のあいさつも言いません。おまけにスナック菓子を見つけて食べ始める。母親に何を言われても言うことを聞きません。

さて、こんな時、あなたはどうしますか？演技を見ながら考えてみて下さい！

場面2 「夕食後のヒロシ君」

ヒロシ君は、帰宅後、少し元気がなかったようでしたが、夕飯をすませ、なんとなくテレビを見ていました。最近ヒロシくんは一人でお風呂に入るようになったので、お母さんは「早くお風呂に入ってきて下さい」と声をかけました。ところが、ヒロシ君は「お母さん今日一緒にお風呂に入ろう」と言いました。せっかく一人でお風呂に入れるようになったのに...、それに洗い物もたくさん残っているし...

さて、こんな時は、あなたはどうしますか？演技を見ながら考えてみて下さい。

このような手順でプログラムを作成しました。（プログラム編参照）